

# 東部海浜開発事業検討会議 報告VOL. 2

## 東部海浜開発検討会議の目的

東部海浜開発事業について、客観的かつ多角的な視点から精査すると共に、公平公正な観点から情報を公開するため、東部海浜開発事業検討会議を設置する。

(東部海浜開発事業検討会議設置要綱より)

## 第2回 東部海浜開発事業検討会議 式次第

日時 平成19年1月19日(金)14:30～  
場所 沖縄市役所 地下2階 大ホール

- (1)開会
- (2)議事
  - ①前回の確認
  - ②会議の進め方について
  - ③これからのスキーム作り
  - ④その他
- (3)閉会

### <配付資料>

議事次第・委員名簿・座席表

資料-1 前回の確認

資料-2 会議運営にあたってのルール(案)

## 検討会議委員 (五十音順・敬称略)

伊良部 光宏	市民委員
岩田 健吉	市民委員
大田 至	市民委員
島田 勝也	NTT西日本-沖縄 (副座長)
高江州 昌和	おきなわ証券株式会社 代表取締役
當山 真由美	(株)都市科学政策研究所
比嘉 徹	(株)レイメイコンピュータ 代表取締役
藤田 喜久	NPO法人 海の自然史研究所 代表理事
宮平 栄治	名桜大学 国際学部 教授 (座長)
藁科 邦利	市民委員

※検討委員は、公募により選任された市民委員と、学識経験を持つ専門委員で構成します。

## 沖縄市役所 東部海浜開発局 計画調整課 (市役所6階)

tel 098-939-1212(代表) fax 098-939-6313 <http://www.city.okinawa.okinawa.jp>

メインページ→各課案内→計画調整課

※会議の配布資料は事務局へ請求していただければ配布いたします。  
沖縄市ホームページにも掲載していますので、そちらもご利用ください。

## 議題1)前回の確認…第1回の内容の確認

### 検討会議の目的の確認

- ・客観的かつ多角的な視点から精査
- ・公平公正な観点から情報を公開する
- ・会議では事業の是非を問わない

### 事業計画概要の確認

- ・事業の経緯
- ・国、県、市の事業の枠組み
- ・土地利用計画イメージの説明

### 検討会議の進め方について

- ・精査するために、委員と市民は勉強が必要
- ・客観的な情報を重要視する
- ・前提条件が違う資料を整理する必要がある
- ・市民にわかりやすい形での情報の発信
- ・傍聴者の意見についてルール化

今回の議題: **検討会議のルールの策定・疑問点の洗い出し**

## 議題2)会議の進め方について…検討会議のルールの策定

### 会議のルール

徹底した議論・自由な発言を尊重する  
実証的かつ客観的なデータを尊重する  
誹謗、批判、中傷、雑言はNG  
沖縄市民全体の視点、関心を念頭に  
会議は全て公開を原則とする

### 傍聴者のルール

意見は「意見等記入用紙」で行う  
会議は傍聴者との議論は行わない  
不適切な発言・行為により会議を妨げない  
傍聴者の発言は座長の指示で対応する

### 会議において、こんな人はイエローカード、レッドカードです！

ノーマン・タイプ	意見は全て否定してかっこいいと思っている
イエスマン・タイプ	自分の意見は言わずに、他の意見は全て賛成
ハイジャック・タイプ	自分の意見ばかり言い、他の人に意見を言わせない
テロリスト・タイプ	いきなり怒り出したりわめき散らす
カクラン・タイプ	議論の最中に、いきなり違う話を持ち出す
時間浪費タイプ	自分の自慢話を長々と話して本題に入れない
思いこみタイプ	思い込みが激しく、相手の意見を聞こうとしない
何でここにいるの・タイプ	議論に興味がなく、会議と関係ないことをしている

## 議題3)これからのスキーム作り…疑問点の洗い出し

会議で何に重点を置いて議論していくべきかについて考えるため、各委員の事業に対する疑問や意見をカードに書いて、近い内容のグループを作り、整理をしていきました。

たくさんの疑問や意見、提案が出たため、会議の時間の中では整理ができず、次回へ持ち越しとなりました。

### 疑問点の洗い出しの様子

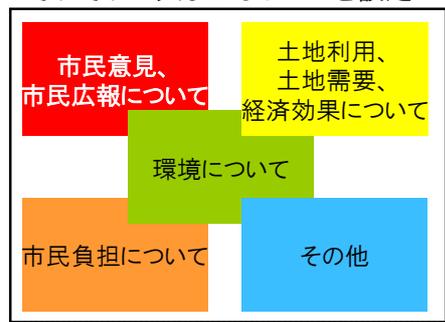
#### 疑問点の列挙

疑問点を簡潔にカードに記入  
関連する事柄なら何でもOK



各委員があらかじめ考えてきた疑問点をカードに記入し、壁に張り出す。

5色のカードを用意  
それぞれに大まかなテーマを設定



#### 疑問点の読解

カードを一枚ずつ読み上げる  
カードの意味する事柄を読み解く



張り出されたカードを一枚ずつ読み上げながら意味合いの近いものをグループ化した。

傍聴者からの意見等も追加して、整理は次回へ持ち越しとなりました。

#### 疑問点のグループ化

関連するカードをグループ化  
グループに簡潔な名前をつける



各委員から出た疑問点は、14のグループに分類された。今後も追加、修正をしていく。

そもそも論 干潟 中心市街地

会議のあり方 国・県の事業関連

外部からの指摘 将来 現状

経済効果 市民意識 財政負担

上位計画 具体的な利用 事例

#### 問題点の解決方法を探る



グループ化されたカードを見ながら次回以降の議題を検討した。

## まとめ)検討会議のあり方について

### 検討会議の最終目標について

- ・現状を整理、問題点を洗い出し、客観的多角的に精査
- ・検討会議は、事業の是非を検討、決定する場ではない
- ・議論を進めるうちに、提言した方がよいとなればそれも有り

### どう議論(精査)していくのか

- ・すべてを議論していくには時間がかかりすぎる
- ・議論が多岐にわたりすぎると、焦点がぼやける
- ・現行計画を軸に、推進・反対の意見を拾っていけないか
- ・ワーキンググループで細かく審議ことも視野に

### 市民への広報について

- ・市民に情報が正しく伝わっているのかが大事
- ・現状の公開方法では、興味のある人しか見ない
- ・会議の周知を徹底しないと、トップダウンと変わらない
- ・どうしたら会議が市民に伝わるのか考える必要がある

第3回の検討会議の議題は  
**疑問点の精査の方法**  
**情報公開のあり方**  
等です

次回の検討会議は  
**2月10日(土)14時～**  
**沖縄市役所 B2Fにて**  
開催します。

\*検討会議はどなたでも傍聴が可能です。  
詳しくは **沖縄市役所 東部海浜開発局 計画調整課**までお問い合わせ下さい。

## 参考) 傍聴者の意見

傍聴者の意見は事務局を通じて、座長へ提出します。但し、全てが検討会議において反映されるとは限りませんのでご了承ください。ここでは内容を一部省略して掲載しています。

- ・泡瀬干潟と浅海域の現場を良く知っておられると思いますが、委員全員での現場検証を是非行って欲しい。
- ・島が出来た後ビーチ管理、ジェットスキーなどによる漁業(漁業者)への影響はどうなるのか。
- ・専門委員の皆様のごこれからの「まちづくりのあるべき姿」に対するビジョンをお聞かせしてもらえたらと考えています。
- ・国が関与して一気に進んだ節があるのでは？果して将来の財政負担から考えて是とするべきか疑問である。なぜ国が参画したのか？その正否は検討されたのか。現在の事業の進捗状況をふまえての議論を行う必要があるのではないか
- ・HPに載せているだけでは、ただ公開しているだけで市民に伝えようとしていない気がします。情報公開をしているというポーズではないかと思ってしまう。
- ・県総合運動公園は工法や自然環境のモデルになるところ。
- ・米軍の使用協定書(泡瀬通信施設における沖縄市による在日米軍施設・区域の共同使用に係る協定書)の提供



\*全文は**沖縄市役所 東部海浜開発局 計画調整課**のホームページでご覧いただけます。